

# ことり新聞

June 2025.6.5 Vol.146

看護部だより6月号

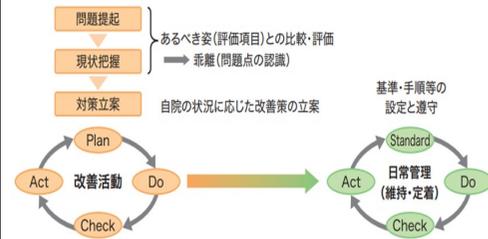
## 伊護看護部長

6月・梅雨の時期となりました。暑かったり、寒かったり・自律神経が乱れやすく体調不良を感じやすいと言われています。お風呂に使ったり、睡眠を十分とるなど体調管理を行い、皆でこの時期を乗り越えていきましょう！



来年2026年5月 2回目となる**病院機能評価〈3rdG:Ver.3.0〉**を受審します。

病院機能評価は、**組織横断的な質改善活動を支援するツール**です。病院組織全体の運営管理および提供される医療について、基本的な活動（機能）が適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価の結果、明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、**医療の質向上**が図られます。



病院をより優れた状態にするために、理念に向かって**職員が一丸**となり、**継続した質改善**を推し進めることが大切です。

職員一人ひとりが**「最高のホスピタリティを目指して」**取り組んでいきましょう！

## 6月 研 修 ・ 行 事

- 2～19日 大阪医専実習
- 3日 新人看護師「輸液・シリンジポンプ」  
現任教育「ファシリテーション」
- 4日 認知症ケアチーム研修Ⅰ
- 6日 認知症ケアスペシャリストフォローアップ
- 9～27日 青山大学実習
- 4・18日 法人卒後2年目セルフマネジメント
- 10日 排泄ケアスペシャリスト17期①
- 16～18日 大阪医療看護専門学校実習
- 17日 新人ハラスメント研修  
新人看護師「摂食嚥下」
- 18日 臨床倫理勉強会
- 20日 ACP
- 24日 ドクター千里シュミレーション  
卒後3年目「看護現場学」
- 30～7/9日 大阪医専実習



### 今月の偉人名言

感謝の心が高まれば高まるほど、それに正比例して幸福感が高まっていく

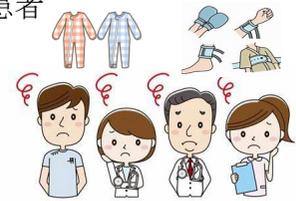
松下 幸之助



## 身体的拘束最小化チーム

東6階 認知症認定看護師 看護師長

2024年度診療報酬改定では「身体的拘束を最小化する取り組みの強化」を図るため、入院料の施設基準に、患者または他の患者の生命または身体を保護するため、**緊急でやむを得ない場合を除き、身体的拘束を行ってはならない**ことを規定しています。さらに、すべての医療機関において、組織的に身体的拘束を最小化する体制を整備することが新たに規定されました。



これは組織一丸となって取り組むこと、つまり組織改革が求められるともいえます。当院でも病院一丸となって身体的拘束の最小化を推進しているところですが、「最小化」することだけを目指してはならず、あくまで「**患者さんのQOLの向上**」を目指していきたくと考えます。

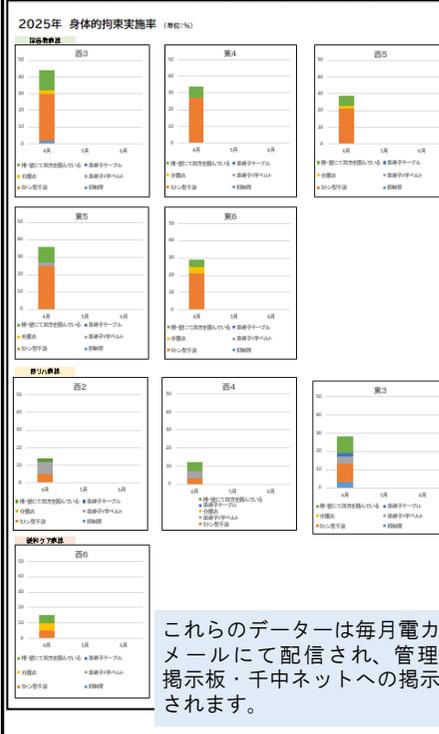
各現場では患者さんの安全のために身体的拘束をおこなっており、患者さんの尊厳と治療の必要性の間でジレンマを抱えている方もたくさんおられるのではないのでしょうか。

患者さんの尊厳を守ることで皆さんのジレンマも軽減できればと考えています。

今年度は各病棟の主任がリンクナースを担っています。毎月の身体的拘束実施状況の報告にあわせて各現場での取り組みの工夫なども共有しますので、各現場で参考にしていただきたいです。

私たちの関わりが医療の質の向上に直結することを再確認し、一丸となって取り組んでいきましょう!!

項目	認知症				精神科				その他				計			
	発生数	発生率	発生率	発生率	発生数	発生率	発生率	発生率	発生数	発生率	発生率	発生率	発生数	発生率	発生率	
認知症	0	0.00%	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%	
精神科	71	14.0%	0.00%	0.00%	143	14.3%	0.00%	0.00%	214	21.4%	0.00%	0.00%	214	21.4%	0.00%	
その他	130	14.0%	0.00%	0.00%	42	13.0%	0.00%	0.00%	142	14.2%	0.00%	0.00%	272	14.2%	0.00%	
計	201	14.0%	0.00%	0.00%	185	14.3%	0.00%	0.00%	356	14.3%	0.00%	0.00%	586	14.3%	0.00%	



これらのデータは毎月電カルメールにて配信され、管理棟掲示板・千中ネットへの掲示もされます。

## 4月 新規褥瘡発生 9人

(4月褥瘡予防対策委員会より)